

発行: エコ通勤優良事業所認証制度事務局
(国土交通省総合政策局地域交通課及び
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団(エコモ財団))

◆◆目次◆◆ (クリックすると各記事のページにジャンプします。)

1. 寄稿(エコ通勤優良事業所認証制度 長期継続認証事業所より)

多様な主体との連携による公共交通の維持・確保の取組

【甲府市 まちづくり部 リニア交通室 交通政策課 係長 小林達哉】

2. 現在の累計認証登録数

●エコ通勤優良事業所認証登録数

3. 新規認証登録事業所の取組み紹介

●2021年10月29日付けで認証登録された事業所

●2021年11月30日付けで認証登録された事業所

●2021年12月24日付けで認証登録された事業所

4. 長期継続認証事業所の紹介

●2021年10月29日付けで長期継続認証された事業所

5. ニュース／トピックス

●エコ通勤等部門で甲府市役所が「令和3年交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰」を受賞【国土交通省】

●全国の鉄道駅バリアフリー化を加速します！～鉄道駅バリアフリー料金制度の創設、地方部における支援措置の重点化～【国土交通省】

●京王線車内傷害事件等の発生を受けた対策をとりまとめました【国土交通省】

●第12回EST交通環境大賞表彰式・記念講演の開催動画を公開しました【EST普及推進委員会、エコモ財団】

●「地域公共交通の課題解決に向けた協定」を締結～未来に向かって躍動する「NEW 城陽」の実現に向けて～【近畿運輸局、京都府城陽市】

●「エコ通勤優良事業所認証」を取得しました【内閣府沖縄総合事務局】

●おでかけ交通博 2021 オンライン版を開催しました【東北運輸局】

●通勤急行バス「通勤ライナー」を実証運行します！【内閣府沖縄総合事務局】

●「SAGA Mobility LABO」を発足し、「my route」を導入します！【佐賀県】

●首都圏の輸送システムの変革を進めます【JR 東日本】

●リアルタイム混雑状況の提供路線を拡大します【JR 西日本】

●新型車両 400 系と新造車両 30000A 系を中央線に導入します【Osaka Metro】

- 地域・観光型 MaaS「回遊軽井沢」を開始！ ～オンデマンド交通や各種電子チケットの利用・決済がスマホで完結～【JR 東日本、西武 HD】
- 「ナッジ応用技術」により鉄道やバス利用者の行動変容を促すアプリを用いた「安心快適なおでかけサポート実証実験」を開始【西日本鉄道、日立製作所】
- 2023 年 3 月の実施に向けて鉄軌道旅客運賃の改定を申請～安全・安心にご利用いただける鉄道事業を継続し、公共交通としての社会的責任を果たしていきます～【東急電鉄】
- 全国初！「小児IC運賃を全区間一律 50 円」として、子育て世代を応援【小田急電鉄】
- 「乗ろう！公共交通！路面電車・路線バス無料デー」実施【高知市】
- 熊本県内バス・電車子ども無料（大人 100 円）の日を設定【熊本市、九州産交バス、産交バス、熊本電鉄、熊本バス、熊本都市バス】
- 日光・鬼怒川エリアの鉄道を CO2 排出ゼロに！日光・鬼怒川エリアで鉄道輸送における実質再生可能エネルギー100%を実現します【東武鉄道】
- 西新宿エリアにおいて自動運転の実証実験を行います【京王バス】
- 路線バスを活用した貨客混載事業実証実験の取り組みについて【東急バス】
- 西会津町民バス リクエスト型最適経路バス(AI ダイナミックルーティングバス)の実証運行開始【西会津町、会津乗合自動車、みちのり HD、Via Mobility Japan】
- 駅敷地内にシェアサイクルサービスを導入～移動の多様性を実現し、沿線の利便性を向上～【相鉄、シナネンモビリティ PLUS】

6. イベント情報

7. 取組み紹介

富山市における「エコ通勤」の取り組みについて

【富山市 活力都市創造部 交通政策課 主査 吉崎 達彦】

8. その他



1. 寄稿(エコ通勤優良事業所認証制度 長期継続認証事業所より)

多様な主体との連携による公共交通の維持・確保の取組

【甲府市 まちづくり部 リニア交通室 交通政策課 係長 小林達哉】

(1) 背景と目的

本市の公共交通は、市民の日常生活を支える社会基盤として重要な役割を担っていますが、公共交通を取り巻く状況としては、人口減少などを背景として厳しくなっており、一部の地域では利用者の減少を起因とし、運行本数の削減などのサービス水準の低下が生じています。この「負のスパイラル」を転換させるには、まずは公共交通利用者を増やしていくことが必要であると考えており、公共交通の利用促進策を積極的に実施しています。

(2) プロジェクトの内容

利用促進策は多様なものを実施していますが、中でも、市役所(本庁舎)の立地特性を生かして実施したものとして、2017(平成 29)年 9 月より制度化した「こうふエコ通勤デー」があります。市役所(本庁舎)は、県内随一の公共交通結節点である甲府駅南口駅前広場の半径 600m 程度圏内に立地しており、エコ通勤の実施・効果が期待できることから、毎週金曜日をエコ通勤デーとして市職員にエコ通勤の実施を呼びかけています。この取組が影響していると考えていますが、平成 29 年度と令和 3 年度の通勤方法(鉄道・バス)の割合を比較すると、24%強の増加となっています。

また、本市のエコ通勤の裾野を拡大するため、バス路線が充実しているエリアに立地した民間事業者などにエコ通勤を促進するため「こうふエコ通勤デー参加協力事業所」制度を 2018 年(平成 30)年 8 月に創設しており、毎年市内の事業所に協力を呼びかけています。

加えて、路線バス利用者の利便性向上を図るため、商業施設等の駐輪場に自転車を停めて路線バスに乗り換える取組の「サイクル・アンド・ライド」事業を推進しているほか、商業施設等のイートインスペースなどの空間で路線バスを待つことができる取組の「バス縁地(えんち)」事業も推進しています。

(3) 効果

路線バス利用者数の推移を見ると、令和 2 年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大により大幅に利用者が減ってしまいましたが、平成 29 年度と令和元年度を比較すると、9%強の増加となっています。

このことは、これまで積極的に展開してきた利用促進策の効果が表れているものと考えています。これからも引き続き、市民の皆様、企業、バス事業者等と連携を図りつつ、各種施策を展開してまいります。

【こうふエコ通勤デー（市職員向け掲示板掲載チラシ）】

毎週金曜日は「こうふエコ通勤デー」

甲府市が「エコ通勤優良事業所」に認定されました！！

引き続き、皆様のご協力をお願いします！！
職員の行動で市民の皆様の足を守りましょう！

公共交通機関を
使って通勤♪

渋滞解消 CO2排出削減

維持活性化 健康増進

職員が率先して通勤手段をマイカーから公共交通機関へ切り替えることで、公共交通機関の利用促進やCO2排出削減、心身の健康増進につながります。啓発や呼びかけでこの取り組みを市内全域の取り組みへと発展させることで、**公共交通を未来に残す第一歩**につながります。

バス利用にご活用ください！！
やまなしバスコンシェルジュ
<https://m.busmaps.jp/yamanashi/>

まちづくり部 リニア交通室 交通政策課

市民の移動手段を
市職員が率先して守るための活動を推進中

通勤時間の有効活用！

バス通勤

のオススメ！

あなたのオリジナル時刻表を作成します！

この地区にお住まいの方にオススメ！

マイバス・鉄道時刻表

バス路線が充実

千塚地区	相川地区
貴川地区	池田地区
羽黒地区	里垣地区
甲運地区	伊勢地区

ご自宅周辺のバス停から職場付近のバス停までの時刻表を交通政策課で作成します（要申込）。

まちづくり部 リニア交通室 交通政策課
（内線番号：4475、4472）

リアルタイムで路線バス運行状況が分かるやまなしバスコンシェルジュはこちら

【こうふエコ通勤デー参加協力事業所（事業所募集チラシ）】

週1回
通勤手段は
公共交通で

こうふエコ通勤デー参加協力事業所制度創設

- 公共交通の利用は、健康増進や環境負荷が少ないなど、メリットがあり、本市でも週1回公共交通の利用促進を実施
- 市内の事業所等において、「エコ通勤」の取組を浸透・定着してもらうため制度を創設

申請・認定	事業所名等の公表
<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業所より申請いただき、本市の審査を経て、認定させていただきます。 <p>申請書などは、本市のHPまで ⇒ 【申請随時受付】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参加協力事業所の事業所名及び取組状況について、本市ホームページで紹介させていただきます。 ○ ご応募お待ちしております。

お問い合わせ先・申請先
〒400-8585 甲府市丸の内一丁目18番1号 甲府市まちづくり部リニア交通室交通政策課
電話番号：055-237-5109 受付時間：午前8時30分から午後5時15分まで（平日）

2. 現在の累計認証登録数

●エコ通勤優良事業所認証登録数

318 件 760 事業所(2021 年 12 月 31 日現在)

- ・件： 単独申請の事業所数と共同申請の代表事業所数を足しあわせた数
- ・事業所： 単独申請の事業所数と共同申請の全事業所数を足しあわせた数

●エコ通勤優良事業所認証登録事業所一覧(最新):

http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/data/ecommuters_sougou_ichiran.pdf

3. 新規認証登録事業所の取組み紹介



直近 3 ヶ月間に新規認証登録された事業所は、以下の通りです。

(都道府県別に北から順に、また都道府県内にあつては、登録番号順に記載しています。)

●2021 年 10 月 29 日付けで認証登録された事業所

【佐藤工業株式会社北陸支店】

- 登録番号 16-0010
- 富山県富山市(北陸信越運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
 - ・エコ通勤啓発の社内展開
 - ・時差通勤制度、在宅勤務制度の導入
 - ・駐輪場の設置

【株式会社カシイ 本社事務所】

- 登録番号 16-0011
- 富山県富山市(北陸信越運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
 - ・県及び市町村主催のノーマイカー運動参加
 - ・徒歩通勤、自転車通勤への手当支給
 - ・駐輪場設置、在宅勤務制度導入

【株式会社 大和富山店】

- 登録番号 16-0012
- 富山県富山市(北陸信越運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
 - ・エコ通勤社内研修会開催
 - ・県及び市町村主催のノーマイカー運動参加
 - ・富山市のとほ活アプリを活用した徒歩通勤推進

【金沢市(第一本庁舎・第二本庁舎)】

- 登録番号 17-0003
- 石川県金沢市(北陸信越運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
 - ・職員向けエコ通勤の呼びかけ
 - ・「カーフリーデーin 金沢」開催、公共交通利用促進の条例設置
 - ・時差通勤制度、在宅勤務制度の導入
 - ・駐輪場の設置、更衣室・シャワールーム設置
 - ・金沢 SDGs パートナース企業にエコ通勤を呼びかけ

【株式会社服部工務店】

- 登録番号 23-0093
- 愛知県春日井市(中部運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
 - ・あいちエコモビ「エコ通勤デー」参加
 - ・相乗り制度導入

【株式会社 松本組】

- 登録番号 23-0094
- 愛知県一宮市(中部運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
 - ・コミュニケーションアンケート実施
 - ・あいちエコモビキャンペーン参加
 - ・通勤用電動付き自転車導入

【社会医療法人ペガサス】

- 登録番号 27-0034
- 大阪府堺市(近畿運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
 - ・公共交通の情報提供、研修会の実施
 - ・マイカー通勤の禁止、時差出勤制度導入
 - ・国土交通省「自転車通勤推進企業」宣言プロジェクト認定
 - ・駐輪場の設置、シャワー室設置

【内閣府沖縄総合事務局(本局)】

- 登録番号 47-0004
- 沖縄県那覇市(沖縄総合事務局管轄)
- 取組み内容の概要:
 - ・沖縄総合事務局版「エコ通勤のすすめ」配布
 - ・時差通勤制度、在宅勤務制度の導入
 - ・駐輪場の設置、更衣室・シャワールーム設置

●2021年11月30日付けで認証登録された事業所

【日本たばこ産業 富山支店】

- 登録番号 16-0013
- 富山県富山市(北陸信越運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
 - ・コミュニケーションアンケートの実施
 - ・「とやま花 Tram・花 Bus キャンペーン 2021」パンフ配布

【一般社団法人ライフスキルサポート協会】

- 登録番号 23-0095
- 愛知県名古屋市(中部運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
 - ・コミュニケーションアンケートの実施

【下里建設株式会社】

- 登録番号 23-0096
- 愛知県弥富市(中部運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
 - ・コミュニケーションアンケート実施
 - ・社内研修会にてエコ通勤リーフレット配布
 - ・エコ通勤デー設定

●2021年12月24日付けで認証登録された事業所

【北陸電力株式会社 本店 他1事業所】

- 登録番号 16-0014-1~2
- 富山県富山市(北陸信越運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
 - ・「エコ通勤への協力依頼」社内掲示
 - ・マイカー通勤の原則禁止
 - ・徒歩通勤者、自転車通勤者への補助制度導入
 - ・在宅勤務制度の導入

【北陸電力送配電株式会社本店 他1事業所】

- 登録番号 16-0015-1~2
- 富山県富山市(北陸信越運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
 - ・「エコ通勤への協力依頼」社内掲示
 - ・マイカー通勤の原則禁止
 - ・徒歩通勤者、自転車通勤者への補助制度導入
 - ・在宅勤務制度の導入

【日本エコシステム株式会社】

- 登録番号 23-0097
- 愛知県一宮市(中部運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
 - ・公共交通機関の時刻表提供
 - ・駐輪場の設置

【八洲建設株式会社】

- 登録番号 23-0098
- 愛知県半田市(中部運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
 - ・コミュニケーションアンケートの実施

4. 長期継続認証事業所の紹介

直近 3 ヶ月間に更新審査を終え、長期継続認証された事業所は、以下の通りです。
(都道府県別に北から順に、また都道府県内にあつては、登録番号順に記載しています。)

●2021 年 10 月 29 日付けで長期継続認証された事業所

□新規認証登録から満 10 年を迎えた事業所

: 通常のロゴマークをブロンズ色で囲んだ「長期継続認証ロゴマーク
(満 10 年以上 20 年未満)」を使用できます。



登録番号	事業所名	市区町村	登録日
20-0023	八十二カード株式会社(八十二銀行グループ)	長野県長野市	2011/10/31

5. ニュース／トピックス

●エコ通勤等部門で甲府市役所が「令和3年交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰」を受賞【国土交通省】

国土交通省では、環境保全に関する取組みに顕著な功績があった事業者、事業所、団体に対して大臣表彰を行っております。このうちエコ通勤等部門においては、甲府市が受賞し、令和3年12月13日(月)に表彰式が行われました。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000172.html

●全国の鉄道駅バリアフリー化を加速します！～鉄道駅バリアフリー料金制度の創設、地方部における支援措置の重点化～【国土交通省】

国土交通省では、第2次交通政策基本計画(本年5月閣議決定)において示された方向性に基づき、鉄道駅のバリアフリー化により受益する全ての利用者に薄く広く負担を頂く制度を創設し、また、地方部における鉄道駅の施設整備については、補助率を現行の最大1/3から最大1/2に拡充することとし、全国の鉄道駅バリアフリー化を加速します。

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001447223.pdf>

●京王線車内傷害事件等の発生を受けた対策をとりまとめました【国土交通省】

国土交通省では令和3年10月31日の京王線車内傷害事件以降の列車内における一連の事件を踏まえ、対策をとりまとめました。この対策を順次実施し、引き続き、鉄道のセキュリティ確保に取り組みます。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo01_hh_000167.html

●第12回EST交通環境大賞表彰式・記念講演の開催動画を公開しました【EST普及推進委員会、エコモ財団】

EST普及推進委員会とエコモ財団は、2021年10月4日に開催した第12回EST交通環境大賞表彰式・記念講演の開催動画をYouTubeのエコモ財団チャンネルに公開しました。

<https://www.youtube.com/channel/UCpJfQPc8wjexFhhINjhx3A>

●「地域公共交通の課題解決に向けた協定」を締結～未来に向かって躍動する「NEW 城陽」の実現に向けて～【近畿運輸局、京都府城陽市】

近畿運輸局と城陽市は、地域公共交通の確保維持や利用促進に関する課題解決に向け、「地域連携サポートプラン」協定を締結しました。

<https://www.tb.mlit.go.jp/kinki/content/4pdf21-75.pdf>

●「エコ通勤優良事業所認証」を取得しました【内閣府沖縄総合事務局】

沖縄総合事務局では、自らが率先して職員の「エコ通勤」を実施することで、波及的に企業や県民の公共交通利用に対する意識啓発になると考え、この度「エコ通勤優良事業所認証」を取得しました。

http://www.ogb.go.jp/-/media/Files/OGB/Unyu/news/211118_1.pdf?la=ja-JP&hash=FD5C46EACA90C6AE59CD5250FC790FB1B6E4EC58

●おでかけ交通博 2021 オンライン版を開催しました【東北運輸局】

東北運輸局では東北地方における地域公共交通の活性化に向けた取組の促進を図ることを目的に、おでかけ交通博を毎年開催しております。2021 年は新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、昨年同様オンラインにより 2021 年 10 月 22 日(金)に開催いたしました。当日の動画と資料を公開しています。

<https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/ks/newpage/ks-odekake-2021.html>

●通勤急行バス「通勤ライナー」を実証運行します！【内閣府沖縄総合事務局】

沖縄本島中南部における朝夕ピーク時の交通渋滞の解消等のため、沖縄総合事務局では、昨年度に引き続き、通勤急行バス「通勤ライナー」の実証運行を令和4年1月11日(火)～2月7日(月)までの平日に行います。快適な通勤環境を整えた貸切バス車両を使用して運行し、マイカー通勤からバス通勤への利用転換を目指します。今年度は、路線バス事業としての自立運行に向け、運賃を有料化し、利用者の利用意向の把握や運行に当たっての課題の整理を行います。

http://www.ogb.go.jp/-/media/Files/OGB/Unyu/news/211224_1a.pdf?la=ja-JP&hash=493BA4F49E31C22A158CE63365E09790ACCE7F6D

●「SAGA Mobility LABO」を発足し、「my route」を導入します！【佐賀県】

佐賀県では移動に対する課題を解決し、よりよい移動環境を上げるため、「SAGA Mobility LABO」プロジェクトが発足し、2022 年 1 月 11 日より、トヨタファイナンスサービス株式会社が提供するマルチモーダルモビリティサービス「my route」を導入しました。

<https://aruko.saga.jp/2021/12/14/>

●首都圏の輸送システムの変革を進めます【JR 東日本】

東日本旅客鉄道株式会社では、最新技術を広く活用し、利用者視点の輸送サービス、SDGs を意識した鉄道運営、社員の働き方改革を目指した首都圏の輸送システムの変革を進めています。具体的には、ATACS(無線式列車制御システム)を導入し、ATO(自動列車運転装置)の高性能化により、輸送安定性の向上および利用者の需要やニーズに応じた柔軟な運行を実現します。また、首都圏主要線区において、ワンマン運転に向けた準備を進めます。

https://www.jreast.co.jp/press/2021/20211207_ho03.pdf

●リアルタイム混雑状況の提供路線を拡大します【JR 西日本】

西日本旅客鉄道株式会社では、時差通勤促進及び混雑回避の取り組みの一つとして、大阪環状線・JR ゆめ咲線においてリアルタイム混雑状況を提供しています。2022 年 2 月に対象路線を拡大します。

https://www.westjr.co.jp/press/article/items/211217_02_realtime.pdf

●新型車両 400 系と新造車両 30000A 系を中央線に導入します【Osaka Metro】

Osaka Metro は、中央線に新造車両 30000A 系を 2022 年 7 月から、新型車両 400 系を 2023 年 4 月から導入すると発表した。30000A 系は 2025 年開催される大阪・関西万博の輸送力増強として導入し、万博終了後は谷町線に転用される予定。

https://subway.osakametro.co.jp/news/news_release/20211209_400kei_30000Akei_dounyu.php

●地域・観光型 MaaS「回遊軽井沢」を開始！ ～オンデマンド交通や各種電子チケットの利用・決済がスマホで完結～【JR 東日本、西武 HD】

東日本旅客鉄道株式会社と株式会社西武ホールディングスは、2020 年 12 月に包括的連携を行っています。その一環として、軽井沢町において、自治体や交通・観光事業者などの協力のもと、地域・観光型 MaaS「回遊軽井沢」を展開します。「回遊軽井沢」は、オンデマンド交通と各種電子チケット(交通・飲食物販など)により、観光地やスーパー、公共施設、学校などの場所をつなぎ、観光だけでなく地域住民の生活における移動もスマートフォンひとつで便利にする Web サービス。

https://www.jreast.co.jp/press/2021/20211216_ho01.pdf

●「ナッジ応用技術」により鉄道やバス利用者の行動変容を促すアプリを用いた「安心快適なおでかけサポート実証実験」を開始【西日本鉄道、日立製作所】

西日本鉄道と日立製作所は安心・安全で快適な移動と経済の活性化の両立をめざして、日立製作所の「ナッジ応用技術」を活用して、公共交通機関利用者の行動変容を促す 2 回目の実証実験を 2 月 1 日から 3 月 7 日まで実施する。2021 年 3 月に実施した第 1 回の実証実験の結果を踏まえ、対象をバス利用者のみから、西日本鉄道・西鉄バス利用者に拡大し、リアルタイム混雑状況の提供し、代替経路や代替出発時刻の提示、利用者の特性に合わせた寄り道先の提案などを行い、快適な移動の実現を目指す。

https://www.nishitetsu.co.jp/release/2022/21_083.pdf

●2023 年 3 月の実施に向けて鉄軌道旅客運賃の改定を申請～安全・安心にご利用いただける鉄道事業を継続し、公共交通としての社会的責任を果たしていきます～【東急電鉄】

東急電鉄は 2022 年 1 月 7 日に、国土交通省に 2023 年 3 月の実施に向けて鉄軌道旅客運賃の改定を申請した。安全性・安定性を支える高水準な鉄道インフラを適切に維持・更新し、

将来世代に負担を先送りすることなく鉄道事業を継続するとともに、社会に必要とされる価値を今後も提供していくため。消費税率の変更による運賃改定を除くと、2005年以来の改定となり、改定率は平均 12.9%。ただし、通学定期については据え置きとなっている。

https://www.tokyu.co.jp/company/news/list/Pid=post_382.html

●全国初！「小児IC運賃を全区間一律 50 円」として、子育て世代を応援【小田急電鉄】

小田急電鉄は、2021年11月8日、小田急沿線における子育て応援ポリシー「こどもの笑顔は未来を変える。Odakyu パートナー宣言」を策定しました。このメッセージの具現化に向けて、2022年春からICご利用時の小児運賃を小田急線内一律 50 円とすることを発表しました。

<https://www.odakyu.jp/news/o5oaa10000020qp8-att/o5oaa10000020qpf.pdf>

●「乗ろう！公共交通！路面電車・路線バス無料デー」実施【高知市】

高知市は「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して高知市内の路面電車・路線バス・デマンド型乗合タクシーの無料デーを2021年11月3日(水・祝)から2022年1月30日(日)まで、日曜・祝日と年末年始の全 20 日に実施している。

<https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/23/freeday.html>

●熊本県内バス・電車子ども無料(大人 100 円)の日を設定【熊本市、九州産交バス、産交バス、熊本電鉄、熊本バス、熊本都市バス】

九州産交バス、産交バス、熊本電気鉄道、熊本バス、熊本都市バス、熊本市交通局は、2022年1月29日に熊本県下の路線バス・電車において、子ども(小学生以下)無料、大人 100 円の日を実施します。利用者に改めて公共交通を見直してもらう機会を創出し公共交通の利用促進に繋げ、県域全体の移動(おでかけ)の総量増加による地域活性化を図ります。また、交通手段として公共交通を活用する事で渋滞緩和、環境対策に繋げ公共交通の多面的な効果を発現させることを目的としています。

<https://jmpo.kumamoto-toshibus.co.jp/infomation/announce3/>

●日光・鬼怒川エリアの鉄道を CO2 排出ゼロに！日光・鬼怒川エリアで鉄道輸送における実質再生可能エネルギー100%を実現します【東武鉄道】

東武鉄道では、2022年度内を目途に、日光・鬼怒川エリアを走行する列車及び都心から同エリアへアクセスする特急列車にかかる電力相当を実質的に再生可能エネルギー由来の電力に置き換えます。これにより、同エリアの鉄道輸送にかかる CO2 排出量実質ゼロを実現します。東武グループでは、サステナビリティの考え方のもと、環境負荷低減を重要課題としてとらえ、鉄道車両の省エネルギー化や太陽光発電所による電力の創出など、様々な取り組みを実施しています。

<https://www.tobu.co.jp/cms-pdf/releases/20211104140403JVAsFEjtD0b2sbv1Oqadg.pdf>

●西新宿エリアにおいて自動運転の実証実験を行います【京王バス】

京王電鉄バスは、東京都の「2021 年度西新宿エリアにおける自動運転移動サービス実現に向けた 5G を活用したサービスモデルの構築に関するプロジェクト」の採択事業者として、2022 年 1 月、西新宿エリアにおいて路線バスを用いた自動運転の実証運行を行います。

<https://www.keio-bus.com/news/a8ec104f0a98e2e7bbb9.pdf>

●路線バスを活用した貨客混載事業実証実験の取り組みについて【東急バス】

東急バス株式会社は、2021 年 12 月 16 日から 2022 年 3 月 31 日までの間、横浜市青葉区内を運行する路線バスを活用して、沿線で製造された食品を販売店舗まで輸送する貨客混載事業の実証実験に取り組んでいる。青葉区内で製造された食品を東急バスの路線バスを活用して、たまプラーザ駅まで輸送し、同駅近くの販売店舗で販売するもの。これにより、コロナ禍で利用が減少している路線バスの新たな収入源を生み出すことができ、輸送を委託する側にも事故等のリスクも含めた輸送に係る負担を軽減させることができる。

<https://www.tokyubus.co.jp/news/51b94d9046ea9a130f4b01fc5b71432c53e9f05c.pdf>

●西会津町民バス リクエスト型最適経路バス(AI ダイナミックルーティングバス)の実証運行開始【西会津町、会津乗合自動車、みちのり HD、Via Mobility Japan】

西会津町ならびに会津乗合自動車、みちのりホールディングスは、2021 年 7 月に締結した「西会津町民バスの輸送サービス向上に向けた連携・協力に関する協定」に基づき、Via Mobility Japan 株式会社が開発・提供するシステムを使ってリクエスト型最適経路バス(AI ダイナミックルーティングバス)の実証運行を開始します。デマンドバスにおいて同システムを導入することにより、さらなる利便性の向上及び運行の効率化を図る。

https://www.michinori.co.jp/pdf/20211101_PR_aizu.pdf

●駅敷地内にシェアサイクルサービスを導入～移動の多様性を実現し、沿線の利便性を向上～【相鉄、シナネンモビリティ PLUS】

相模鉄道とシナネンモビリティ PLUS は、2021 年 12 月 18 日からシェアサイクルサービス「ダイチャリ」の駐輪場を相鉄線 4 駅(上星川駅、西谷駅、三ツ境駅、瀬谷駅)に設置しました。これは相模鉄道として、初めてのシェアサイクルサービスの導入となる。今回の取り組みについて、相模鉄道では、環境負荷軽減など SDGs の目標達成や、相鉄線利用者のさらなる利便性の向上を目的としています。

<https://cdn.sotetsu.co.jp/media/2021/pressrelease/pdf/r21-175-sae.pdf>

6. イベント情報

※イベントの内容・開催日時が変更になる場合があります。最新の情報は主催者のホームページ等でご確認ください。

●日曜・祝日「路面電車・路線バス等」無料デー関連イベント

日時:2021年11月3日(水・祝)～2022年1月30日(日)の日曜・祝日

会場:高知市内

主催:とさでん交通

<https://www.tosaden.co.jp/info/dtl.php?ID=1810>

●阪急レールウェイフェスティバル 2021ONLINE

日時:2021年11月12日(金)10:00～2022年1月31日(月)18:00(予定)

場所:オンライン開催(HP:https://www.hankyu.co.jp/area_info/railway2021a/)

主催:阪急電鉄株式会社

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/release/docs/b0f90fbbca0c82550878cfc1ee880369febf4a6c.pdf>

●スマートモビリティチャレンジシンポジウム in 関西

日時:2022年2月8日(火) 15:10～17:10

場所:グランフロント大阪北館4階ナレッジシアター(オンライン併用)

主催:近畿経済産業局、近畿運輸局、近畿総合通信局、近畿地方整備局

<https://www.tb.mlit.go.jp/kinki/content/4pdf21-112.pdf>

●岳南電車 7000形 25周年イベント

日時:2021年12月25日(土)～2022年2月26日(土) ※イベントにより開催日が異なります

会場:岳南電車とその沿線(静岡県)

主催:岳南電車

<http://www.gakutetsu.jp/event/index.html>

●交通インフラ WEEK2022

日時:2022年7月20日(水)～7月22日(金) 【東京開催】

会場:東京ビックサイト

日時:2022年12月7日(水)～12月9日(金) 【大阪開催】

会場:インテックス大阪

主催:一般社団法人日本能率協会

<https://www.jma.or.jp/tiweek/>

7. 取組み紹介

富山市における「エコ通勤」の取組みについて

【富山市 活力都市創造部 交通政策課 主査 吉崎 達彦】

本市では、今後の人口減少と超高齢化に備え、持続可能な都市経営とまちづくりを進めるため、「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」を中心政策に据え、総合力の高い魅力あるまちづくりに取り組んでいます。こうした中、SDGs の推進に向け、環境政策の強化による持続可能なまちづくりの深化を図るため、令和3年3月にゼロカーボンシティを表明し、脱炭素化に向けた取組みを推進することとしています。

最初の取組みとして、市役所本庁舎を対象とした、環境にやさしい交通手段での通勤「エコ通勤」を推進することとし、令和3年4月に「エコ通勤優良事業所認証」を取得しました。

エコ通勤の取組みを進めるにあたり、職員を対象としたアンケート調査を行った結果、職員の約3割がクルマ通勤であること、また、職員を対象とした月2回のノーマイカーデーへの参加状況を確認すると、参加者が約3割という結果となるなど、職員の通勤時におけるクルマへの依存が高いことが伺えます。

こうしたことから、本市ではエコ通勤の促進に向け、次の4つの取組みを進めています。

- ① 職員を対象とした月2回のノーマイカーデーの実施
- ② 職員を対象としたエコ通勤に関する研修会の実施
- ③ とほ活アプリの推奨による公共交通の利用促進
- ④ 市ホームページでの公共交通の情報提供

中でも、職員を対象としたエコ通勤に関する研修会では、通勤時を含む公共交通の利用を促すため、新規採用職員へのモビリティ・マネジメントの実施に加え、職員向けのエコ通勤に関する研修会を実施し、研修後にはトラベル・フィードバック・プログラムを用いた2回のコミュニケーションアンケートを行うことで、職員の意識醸成を図っています。アンケートでは、1回目に職員の通勤手段の把握や利用している交通モードを確認し、2回目ではクルマ通勤の職員に絞りアンケートを実施するとともに、クルマの利用と環境問題、健康増進、交通事故のリスク等を絡めた設問することで、エコ通勤への意識付けを行っています。

また、とほ活アプリの推奨による公共交通の利用促進については、本市では市民が過度にクルマに依存したライフスタイルを見直し、歩いて健康に暮らすライフスタイルを実現するため、「とほ活」(＝富山で歩く生活)をキャッチコピーに様々な取組みも行っています。その1つの取組みが、歩くことに加え、公共交通の利用やまちなかのイベントなどへの参加に応じてポイントが貯まるスマートフォンアプリ「とほ活」です。貯まったポイントで賞品抽選に応募ができ、広く市民の皆様だけではなく職員にとっての歩ききっかけづくりにつなげることに加え、積極的な公共交通利用の働きかけにも寄与しています。なお、こうした「とほ活」の取組みが評



図1 とほ活アプリ画面

価され、本アプリにおいては、自治体が開発したアプリとして、全国初のグッドデザイン賞(2021年度)を受賞するとともに、「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰 2021」を受賞しました。

このような取り組みを進めることで、マイカー通勤者を2年間で2割まで削減することを目標に掲げています。

また、エコ通勤の取り組みを広く市内企業にも普及させるため、企業向けのモビリティ・マネジメントを実施しています。市内の企業へ個別に訪問し、エコ通勤の取り組みがSDGsの推進に資するものであることや、従業員の健康増進や事故リスクの軽減につながるなど、企業側にメリットがあること、さらには、公共交通の利用者が増加することで公共交通が活性化し、それが持続可能な公共交通の実現に向けた1つの取り組みとなり、企業が根付く地域にとってもメリットがあることなどを説明し、エコ通勤への参加を働きかけています。また、地元経済団体である、地元の商工会議所や経済同友会への働きかけも行っています。

さらに、交通事業者とも連携し、エコ通勤を積極的に進める企業へのインセンティブを設けています。具体的には、「エコ通勤優良事業所認証」を取得した企業に対して、富山地方鉄道の路面電車及び路線バスの車内や、あいの風とやま鉄道の県内の駅に、それぞれ1ヵ月間広告を無料で掲載できることとしました。いずれの広告も、企業広告に加え、エコ通勤の取り組み内容等を添えて掲示することとしています。

併せて、マイカー通勤からエコ通勤への行動変容を促し、新たな公共交通利用者による増収と定期運賃の割引が、運賃収入にどのような影響をもたらすかを検証することを目的に、富山地方鉄道と協力して、路線バスの通勤定期券を割り引く実証実験を行っており、「エコ通勤優良事業所認証」を取得した企業に対しては、別に割引支援も実施しています。

このような取り組みを進めた結果、市内の8事業所(令和3年12月時点)において、新たに「エコ通勤優良事業所認証」を取得され、積極的にエコ通勤の取り組みを進めています。

本市では、引き続き職員や市内企業への働きかけを行い、ゼロカーボンシティの推進、延いては公共交通の活性化によるコンパクトシティの深化を図る重要なツールの1つとして、エコ通勤を推進してまいりたいと考えています。



(株)大和 富山店
店長 中崎俊也さん

平成30年から一段ギアを上げてエコ通勤に取り組んでおり、令和3年10月に、「エコ通勤優良事業所認証」を取得しました。

従業員に対する、ポスターやメール、社内放送での呼び掛けのほか、市が推進する「とほ活」イベントの店内実施、「ノーマイカーデー」への参加などで、健康づくり＝「歩く」ということを意識付けし、現在は、従業員の4割が公共交通で通勤しています。

今後は、公共交通での通勤者を5割に増やすことを目標に、独自のノーマイカーデーや特典などを設けながら、継続して従業員の意識改革と全員参画に取り組んでいきたいと思ひます。

図2 市内企業の取り組み状況

出典：広報とやま1月5日号

8. その他

- 公共交通政策全般について公共交通メールマガジンを発行しています！【国土交通省】
http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000039.html
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！【エコモ財団】
<http://mm-education.jp/magazine.html>
- 環境的に持続可能な交通(EST)メールマガジンを発行しています！【EST 普及推進委員会事務局(エコモ財団)】
<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>
- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！【エコモ財団】
http://www.ecomo.or.jp/environment/nev/nev_top.html
- 「運輸・交通と環境」を発行しています！
(日本語版)【国土交通省監修・エコモ財団発行】
<http://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyoku/index.html>
(英語版)【エコモ財団発行】
<http://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>
- エコ通勤・職場モビリティ・マネジメントをはじめとするモビリティ・マネジメントについての各種情報を掲載しています！【一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)】
<https://www.jcomm.or.jp/>

●記事募集中！【事務局】

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

エコ通勤あるいは職場モビリティ・マネジメント、さらにはそれらと広く関連するテーマ(地域公共交通活性化、徒歩、自転車、地域モビリティ確保など)での取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: ecommuters-news@ecomomo.or.jp(担当:岡本、岸本)

発行:エコ通勤優良事業所認証制度事務局

(国土交通省総合政策局地域交通課及び

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団(エコモ財団))

<お問い合わせ先>エコ通勤優良事業所認証制度 事務局 メールマガジン配信担当

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団) 担当 岸本、岡本

E-mail: ecommuters-news@ecomomo.or.jp TEL: 03-3221-7637 FAX: 03-3221-6674

バックナンバー閲覧: <http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/mailmagazine.html>

認証制度 HP: http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html

※ 配信先の新規登録・変更希望の場合は、登録事業所名、配信先担当者の所属部署、役職、氏名、E-mailをお知らせください。ただし、対象は認証登録事業所です。